

子ども会議

「ボール遊びを思いっきりしたい!」と声を上げた子どもたちが、月に数回遊び場について話し合う「子ども会議」を応援団の一人としてサポート(2019年2月~)。子どもたちは公園について調べたり、発表したりと活動してきました。また、活動してきた内容をまとめ、遊び場についての陳情を板橋区議会に提出。5項目中4項目が採択*されました。

こどものあそび場についての陳情項目はこちら

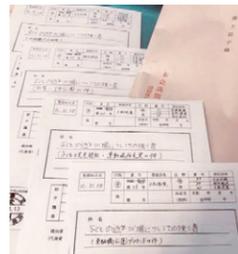
- ・旧板橋九小の件
- ・加賀二丁目公園の件
- ・子どもの意見聴取
- ・運動場所充実の件
- ・東板橋公園グラウンドの件

小学生からの陳情は初めてです!

引き続き、陳情の内容が、区政に反映されるようチェックしていきます。今回の活動を通じ、私自身、子どもたちから学ぶこと、勇気もらうことばかりでした。感謝の気持ちを伝えたいです。今後、「子ども会議」を普遍的なものにし、子どもが自ら考え、熟議し、子ども施策やまちづくりについて改善・提案・実行できる機会を増やしていきたいです。

*議会の意思決定として賛同を得たこと

実際に提出された陳情書の一部です。



5. 今ほくたちが住んでいる周辺には、サッカーや野球の練習場があまりありません。日本はど田舎の国です。しかもその東に、このような場所を作れると、とても面白い事(まじり)ははじまるために、ガキをけたいです。お原貝いほ

子どもの遊び場

2019年の夏、突然、ボール遊びを禁止する看板が。



1 「いつもテニス・ソフトボールをしている大人やキャッチボール・サッカーをしている小学生もいたけど、お互い様子を見ながら譲り合って遊んでいたと思う...なぜ突然禁止になってしまったのだろうか?」「いつも遊んでいた赤塚公園沖山地区で、ボール遊びが突然できなくなってしまった」と乳幼児の親から連絡がありました。

2 なぜ、突然禁止に?? 東京都に問い合わせると、「ゴルフをしている人がいる」という苦情があり看板を掲示したとのこと。ボール遊びを禁止したことで、利用者がほとんどいない状況となっていることや、ボール遊びができる広々とした沖山公園の重要性について都に伝えたところ、11月28日には表示が変わりました。

「マナーを守ってくださりありがとうございますー大声や公園外へのボールの飛び出し、他の利用者に迷惑がかかるような野球・サッカー等の練習はご遠慮くださいー」

より自由な活動がしやすい表示に。

3 地元都議にも協力してもらい「都立公園では親子でのキャッチボールや、サッカーのパス練習については、他の利用者に支障のない範囲で認めている」との見解を都から得られました(12/20)。

苦情で禁止事項を増やすだけでなく、多様な人が参加し、魅力的な公園づくりをする仕組みが必要です。また、板橋区には、子どもの年齢に応じた「遊び場計画」がなく策定を求めました。「地域全体が遊び場の重要性の理解を深める必要がある。子どもが遊び、成長していく計画づくりやまちづくりのために、子どもの意見を反映させる仕組みづくりを研究する」との答弁がありました。(19/10/25 決算総括質問)



Before



After

いたばし区政レポート 2020年春

一人ひとりの声から板橋の未来をつくる



板橋区議会議員 (無所属) 35歳 **井上 あつこ 温子**

居場所視察レポート

ゴジカラ村 愛知県長久手市

手間がかかってわずらわしくて不便で思い通りにならないだからみんなで暮らしていける だからみんなの居場所がある 愛知県長久手市にある「ゴジカラ村」は、「誰もが役割と居場所のあった昔の暮らしが必要だと感じ、その暖かく、わずらわしい暮らし」を目指し、NPO 法人愛知たいようの杜が運営しています。通常、リスクを考へ施設を管理すると、自由を奪いがちになりますが、ゴジカラ村の特養やケアハウスは出入り自由で、誰でも利用できる食堂等もあります。外の世界と分断されず、個人の希望が尊重される施設や自宅で最期まで暮らせるのが普通の世の中にしてほしいです。「ゴジカラ」は、アフターファイブのこと。仕事が終わった後は、時間に追われずゆったりとしていて、高齢者や障がい者、子ども、若者もなんとなく顔見知りが出て、役割を果たしあっている。そんな板橋をつくっていきましょう。



ソーネOZONE 名古屋市北区

「しげんカフェ」を中心に、地域の「あったらいいな」を集めた複合施設。名古屋市北区の大曾根住宅1階に生まれた「パンとみんなとしげんカフェ」。ここには、障がい者の就労支援 A で実施している「ソーネカフェ」、障がい者がつくるパンの販売「わっばん」、手作り商品や野菜、日用品を売る「ソーネショップ」、イベントや教室ができる「ソーネホール」、居住支援法人が相談にのる「ソーネそうだん」、資源の循環を行なう「ソーネしげん」。そして、ゆいま〜さんのサービス付き高齢者向け住宅もあります。生活困窮者や障がい者、高齢者等の支援をする場でありながら、子どもたちや地域に関わりがなかった人たちがまでもがいきたくと思える福祉拠点づくりが、共生社会へのきっかけとして必要だと思いました。



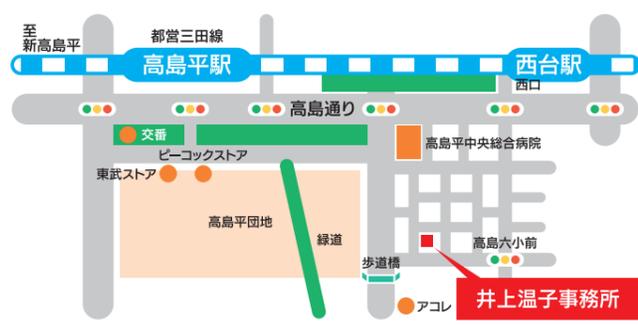
井上温子プロフィール

- 1984年 生まれ35歳 出身地: 青梅市 居住地・事務所: 高島平
- 2003年 東京都立北多摩高等学校卒業 (在学中、陸上部にて関東駅伝・国体に出場)
- 2008年 大東文化大学環境創造学部卒業
- 2008年 同大同学部職員として、地域活性化事業を担当 (地域と大学連携によるコミュニティカフェ運営等)
- 2011年 NPO法人ドリームタウンを設立し、代表理事 板橋区議会議員初当選 (無所属)
- 2013年 同NPOにて共生型の居場所地域リビング プラスワン開設
- 2014年 いたばしコミュニティスペース連絡会立ち上げ
- 2015年 区議会議員2期目当選 (無所属)
- 2017年 立教大学大学院 21世紀社会デザイン研究科 入学 (研究テーマ: 地域共生社会の要となる共生型の居場所の効果と普及の可能性)
- 2019年 同大学大学院 修了 区議会議員3期目当選 (無所属)

井上温子 事務所

みなさんの声もお聞かせください。

〒175-0082 東京都板橋区高島平1-71-8 エトワール西台101
 [Mail] voice@atsukoinoue.jp [Tel] 090-5503-2922
 [HP&Blog] http://atsukoinoue.jp/ やってます!



新型コロナ 板橋区感染者数 84名(4/26累計)

悩んでいた、居場所がない人、お電話下さい。今後の暮らし方を一緒に考えましょう。ウイルスの話題ばかりの今日。その裏で、孤独死や認知症、虐待、うつ病の増加、身体機能低下、失業、倒産等、様々なことが起きていると思われます。社会全体のための行動と、個人を守るための行動はイコールでないこともあるように思いますが、感染に注意しつつ、助け合って生きていきましょう。危機的状況に、区の財政調整基金 234 億円の活用を提言中です。

なんでも相談 090-5503-2922

いたばし未来ラボ 発

いたばし未来ラボって？

「誰もが参加できる、政策実現を目指す勉強会」です。2019年9月に立ち上げました。現在、研究員(区民の方)が10名おり、それぞれが主体となってテーマを設定し、調査や勉強会、視察等を行っています。地域課題の収集や日々の疑問点の共有、ポスティング等の広報などで協力して下さる協力員も募集しています。ぜひ、ご参加ください。

研究員の坂本さんと勉強会やフィールドワークを重ね、議会での提案につなげることができました。



こそだて

養育費不払いの解決に向けて

ひとり親で養育費を受取れずに悩んでいる方が多いです。都は今年度から養育費の受け取り支援を実施するため、区でも導入に向け、早急な検討を求めました。しかし、区長は「直接支援をする考えはない」と答弁。(20/02/25 一般質問) このような姿勢で「子どもの貧困解決に取り組んでいる」と言えるのかと大変遺憾です。

幼保無償化について

無償化により生まれる新たな保育料格差を分析し指摘。お子さんが、0-2歳児で保育を利用している人、保育園を待機している人、一時保育を利用している人への負担軽減を求めました。また、幼稚園の預かり保育における案内について改善を求め実現しました。(19/10/25 決算総括質問)

高校生世代のアルバイト代

生活保護家庭の子どもが働いて得た収入は、一定額を除き世帯収入とみなされ生活保護費から差し引かれてしまいます。せめて、子どもが自分で働いて得たお金は全て、自分に投資できるようにすべきです。制度改革を求めよう区長に質問。区長は、「制度改革を求めない。自立更生の費用を家計に頼らず捻出する努力は応援する」と答弁。これでは、「子どもの貧困解決」という言葉を使う資格すらないので、制度改革を求めず、どのように応援しようとしているのか、追及していきます。(20/02/25 一般質問)



みどり

武蔵野台地の面影を残す 崖線樹林地の保全を

崖線樹林地は一般の公園とは異なる保全・管理が必要ですが、板橋区には管理方針がありませんでした。そこで、「樹林地管理方針」の策定や仕様書の見直しを求めました。区長からは「見直しは必要。樹林地管理方針や保全についても検討を進める」との答弁がありました。(19/09/26 一般質問)



セーフティネット

自立支援センターの居住スペースを個室に

板橋区に2021年3月設置予定の自立支援センターの居室を、プライバシーに配慮した個室にするよう要望。区長からは、「都に要望していく」との答弁があった(19/09/26 一般質問)。

無料低額宿泊所の環境改善を

宿泊所の居室は、プライバシーに配慮された個室は少なく、狭い部屋に複数人を住ませ賃料をとる貧困ビジネス化が問題となっています。また、月約3万円の食事は必要か否かの選択肢はなく、量・質も担保されていないことを指摘。これらの改善とアパート等の住まいへの移行を求めました。「施設と地域の連携を都条例や先進事例を踏まえ対応を進めたい。支援を行うことで自立した生活を営むことができる方は、居宅生活への移行を進めている」との区長答弁がありました。今後も、ハウジングファーストで取り組むよう提案していきます。(19/09/26 一般質問)

喫煙者への調査結果

喫煙所が移設しても利用する... 約65%
駅前の喫煙所がなくなると困る... 約70%
その後、区による調査も行われました。

無所属の会を結成しました！

私は8年間無所属一人会派で活動してきましたが、4月の選挙で同じく完全無所属で当選された、しいな区議と「無所属の会」を結成しました。



地域政治は二元代表制のため、政党に属さず政策ベースで議論し表決する無所属議員が必要です。今後も「無所属倍増計画」を実行し、地方自治を機能させる種時きをしていきます。

いでのくらし

住民主体の訪問型サービスBの制度化を

かねてより制度化を求めている、高齢者の自宅へ有償ボランティア等が訪問し、支援を行う事業について、2020年度の予算化を目指すべく状況を確認。区長から「買い物や通院などの外出に対する支援を求める声を踏まえ、実施に向け検討を進めたい」と前向きな答弁がありました。(19/09/26 一般質問) しかし、2020年度の予算が発表されましたが実現されず、2021年度の予算化を目指します。

住民主体の通いの場の支援姿勢改善を

実施回数の制限や個人ごとの利用時間のチェックはすべきでないこと、支援姿勢の改善、事務負担軽減を求め質問。部長から「回数や利用時間制限はしない」、「自主性を尊重し、負担軽減を念頭に検討する」と前向きな答弁が得られました。(20/02/28 補正予算総括質問)



自立支援センターって？

住居と仕事にお困りの方で、就労の意欲と能力がある方に対して就職に向けた支援を行う施設。23区を5ブロックに分け、各ブロック内に1か所ずつ5年ごとに順番に設置。

無料低額宿泊所って？

生計困難者のために、無料又は低額に簡易住宅や宿泊所等を提供する施設。住宅のない方が福祉事務所にいくと紹介されることが多い。



公衆喫煙所

板橋区役所駅前公衆喫煙所の移設実現

区役所前の公衆喫煙所は、近隣住民の理解を得る前に設置が決まり、廃止を求め議会に陳情が提出されました。私は、人通りが多い場所での設置は問題が大きいと判断し、いち早くほかの場所への移設を提案。移設費用を資料要求したところ約140万円と判明。その後、議会での審議を得て移設が実現できました。区には、今後、合意形成をしながら設置を進めるよう改善を求めました。(19年度区環境委員会)

高島平駅への設置について

区役所前の公衆喫煙所は高島平駅へ移設されることに。区は説明会を一時的に開催するだけで、ニーズ調査が甘いと判断。私は独自に高島平駅前の開放型喫煙所利用者に聞き取り調査を実施(19/11/15)。現在は、開放型喫煙所は廃止され、近隣に公衆喫煙所が整備されました。受動喫煙防止は、非喫煙者、喫煙者の両方から直接話を聞き、環境整備を行うことが重要と考えています。



しょうがい

特別支援学校&学級と放課後等デイサービス(放デイ)の連携促進を

質の良い療育のためには、学校と放デイの間で、児童、生徒の様子を情報共有することが重要です。区内の事例を踏まえ、連携を進めるよう求めました。区長からは連携拡大に取り組むとの答弁がありました。(19/09/26 一般質問)

【関連視察先】高島特別支援学校、板橋特別支援学校、都立志村学園、桐が丘特別支援学校、あゆみ(成増、児童発達支援事業)、東京YWCA(坂下、児童発達支援センター・放課後等デイサービス)、板橋区内放課後等デイサービス事業者連絡会

心身障がい者 理美容サービス事業について

この事業は、在宅の重度心身障がい者に対し、理美容サービスを行うものですが、提供者は、理美容組合に加入しているものに限っています。しかし、組合の加入率は22%と低いのが現状です。組合に加入してなくても、サービス提供ができるよう改善を求めました。また、障がい者宅でのサービス提供としていますが、理美容院へ外出が可能な場合は、外出機会の拡大やリフレッシュにつながるため、理美容院でのサービス提供も可能になるよう求めました。福祉部長からは「利用者の安全確保が図られる条件の整備をし、検討をすすめる」と前向きな答弁がありました。(19/10/25 決算総括質問)

いたばし未来ラボ 発



2019.12.6 勉強会の様子

まちづくり

高島平グランドデザイン勉強会

ラボ主催でまちづくりについての勉強会を開催(19/12/06)。区の担当課長から現状について説明をいただいたあと、ワークショップを行い、まちの未来をイメージ。今後は具現化に向けたストーリー作りや事例検討等を行い、議会での提案につなげていきます。

2019年度に視察させていただき、ありがとうございました！

共生型事業:区内19か所のコミュニティスペースや子ども食堂、富山型(共生型)デイ・グループホーム、愛輪の里雅(東新町)
高齢・精神・認知症:SOMPOケア徳丸(夜間対応型訪問介護)、武蔵野病院、和光病院、戸田葬祭場、高島平警察、久留米健康くらぶ
こども:あいキッズ2校、わこう版ネウボラ、川口こども食堂



障がい:尼崎市医療型児童発達支援センター、豊中市立児童発達支援センター、施設入所支援イクスマイム(板橋)、障がい者福祉センター(高島平) (他、表紙と右ページ“しょうがい”にも記載)